

軽量・準速硬性一材型ポリマーセメントモルタル

一材型  
**EG**  
タイプ

# フィックスLS・EG

(ライトスペシャル一材型イージータイプ)

フィックスLS・EGは、速硬性セメント、軽量骨材、耐アルカリ性ガラス繊維を主体とした無収縮性無機質材料に、アクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合したプレミックスタイプの軽量・準速硬性一材型ポリマーセメントモルタルです。

## 特長

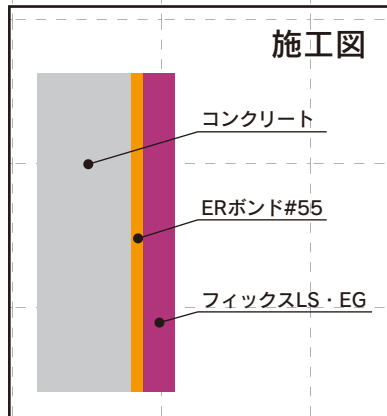
- ▶ **作業性** オールプレミックスタイプのため、現場では適量の水を加えて練り混ぜるだけで使用できます。
- ▶ **厚付性** 繊維や特殊混和材を配合していることでダレ難く、天井部であっても1層20mm程度の厚付けが可能です。
- ▶ **施工性** 粉末樹脂のベタツキを抑え、コテ伸びやコテ離れに優れています。粒度調整により、薄塗りは3mm程度から施工可能です。
- ▶ **ひび割れ抵抗性** 乾燥収縮・水中での膨張を抑制することで寸法安定性に優れているためひび割れ抵抗性を有します。
- ▶ **接着性** アクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合していることでコンクリート下地への接着性に優れています。

## 用途

- ▶ コンクリート構造物（天井・壁）の欠損部断面修復

## 配合及び材料使用量

配合	粉体	15kg
	水	3.0~3.4kg
使塗り厚別材料量料 (kg/m <sup>2</sup> )	5mm	6.60
	10mm	13.20
	20mm	26.40
	30mm	39.60
	50mm	66.00
練上り量		11.36 ℓ
積算比重		1.320
1 m <sup>2</sup> 使用量		1.320kg (88袋)



● 荷姿 粉体 15kg



ERボンド#55 [新旧打継用エポキシ系接着剤]

種類	1.2kgセット	3.6kgセット	18kgセット	
配合	主剤	1.0kg	3.0kg	15kg
	硬化剤	0.2kg	0.6kg	3kg
	使用水量	0.6kg	1.8kg	9kg
塗布量	積算0.15~0.20kg/m <sup>2</sup>			
施工面積	6~8m <sup>2</sup>	18~24m <sup>2</sup>	90~120m <sup>2</sup>	

● 荷姿

・1.2kgセット



・3.6kgセット



・18kgセット



注：塗布量に水は含まれておりません。

## 施工要領

1. 下地処理 脆弱部や付着物の除去、亀裂処理等断面修復材の性能が低下しないように充分な下地処理を行う。
2. プライマー塗布 下地とフィックスLS・EGとの接着を高めるため、ERボンド#55を塗布する。  
フィックスLS・EGの塗り継ぎで下層が硬化している場合も同様に、ERボンド#55を塗布する。  
ただし、表面が乾燥色\*になるまではERボンド#55を使用せずに塗り継ぐこともできる。  
この場合は、塗り継ぎ面を粗仕上げにし、塗り継ぎ時は十分にコテ圧をかけて材料を擦り付ける。  
※乾燥色（表層部の水気が失われ白っぽくなった状態）であるかどうか判断基準となります。硬化時間が早いものほど乾燥色になるのも早く、硬化後1.5～3時間程度（目安）です。乾燥色になった場合、再度、ERボンド#55を塗布して下さい。
3. 混練 規定量を計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練する。  
攪拌時間の目安は1袋当たり3～4分程度\*とする。材料が均一になったら過度の攪拌はしない。  
※ミキサーの種類、回転数や混練量等により調整して下さい。  
練り始めは、配合された粉末樹脂が再乳化するまでに時間がかかるため硬い性状を示しますが、粉末樹脂が再乳化すると水を追加しなくても軟らかい性状を示します。
4. 塗り付け ERボンド#55にタック（糸を引くような粘り）を生じたことを確認し、フィックスLS・EGを塗り付ける。深い凹部がある場合は、先にもその部分を充填する。薄く（5mm程度）シゴキ塗りした後、所定の厚みに塗り付ける（1度の厚みは最大20mm、1日最大40mm）。モルタルの締まり状態を確認し、適宜にコテ押さえを行う。
5. 養生 直射日光や風雨を避けて1日以上養生する。

## 性能

項目	材齢	試験結果	試験方法
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	1日	16.1	NEXCO断面修復材料(左官工法)
	7日	23.4	
	28日	32.1	
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	1日	3.2	NEXCO断面修復材料(左官工法)
	7日	6.1	
	28日	7.1	
接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	7日	2.1	建研式、温度20℃、 ERボンド#55使用
	28日	2.3	
硬化収縮率 (%)	28日	-0.04	NEXCO断面修復材料(左官工法) 硬化収縮性試験方法
熱膨張係数 (/℃)	28日	1.3×10 <sup>-5</sup>	NEXCO断面修復材料(左官工法) 熱膨張性試験方法
静弾性係数 (kN/mm <sup>2</sup> )	28日	15.6	JIS A 1149 (コンクリートの静弾性係数試験方法)
透水量 (g)	28日	2.0	JIS A 1404 (建築用セメント防水材試験方法) 水圧及び時間:0.3MPa×1時間
表面水分量 (%)	3日	6.5	高周波容量式水分計 塗り厚20mm:温度20℃
	7日	4.8	

注) 上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

## ●本資料について

- 本資料の技術情報は、公的機関および当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。  
しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 既存下地・施工環境・気温と様々な施工上の問題がありますので、ご使用の際は弊社営業担当へご相談下さい。

## ●使用上の注意

- ご使用に際してはSDS（安全データシート）をよく読んで下さい。
- 製品は直射日光、湿気を避け5～35℃で保管して下さい。
- 低温時、施工、養生中に5℃以下が想定される場合は、凍害防止のため採暖を行って下さい。
- 高温時、練上がり温度は35℃以下（望ましくは30℃以下）になるように冷水等で調整して下さい。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- 混練にアルミ製の羽根は使用しないで下さい。
- 混練水は水道水水質と同等のものを使用してください。不純物が硬化時間等に影響することがあります
- 一度混練した材料の練り返しはしないで下さい。
- 一旦開封した製品は、即日使い切ってください。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エレホン・化成工業株式会社**

**EREWHON**

<http://www.erewhon.co.jp/>

●本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東・東支店	〒340-0055	埼玉県草加市清門1-248-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●盛岡営業所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●関東・北営業所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
●関東・西営業所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台19-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
●静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●神戸営業所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●北九州営業所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230